

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年1組～8組
教科書	「地理総合」東京書籍 「新高等地図」東京書籍	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養います。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めます。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界	1 緯度・経度 2 地球儀と世界地図 3 日本の位置と領域	○地軸、自転、公転による影響を理解します。 ○地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。 ○日本の位置と領域について理解します。 ○E E Zの重要性について考えます。	行動観察 ワークシート	
	5	第2章 地図や地理情報システムの役割	4 地図の種類 5 地形図のルール 6 主題図の種類と読み取り	○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用の可能性を考えます。 ○地理院地図の特徴を理解し、紙の地形図との違いについて考察します。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じた使い分けを考察します。	小テスト レポート	
	6	第3章 資料から読み取る現代世界	7 地理情報システムと地図 8 交通の発達 9 情報通信の発達 10 国境をこえる人々の移動 11 拡大する貿易	○GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えます。 ○交通手段の多様性とその長所・短所について理解します。 ○ICTの発達について理解し、通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考えます。 ○国境をこえる人々の動きについて理解します。 ○世界の貿易とさまざまな地域経済圏について理解します。		
	7		12 つながる世界、多極化する世界	○多極化する世界の変化について考えます。	期末考査	
	第2学期	9	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	13 文化の地域性と多様性 14 宗教と人々の暮らし 15 山地の暮らし 16 平野の暮らし	○地域によって文化が異なる理由について理解します。 ○宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解します。 ○山地における自然的、文化的なめぐみに気づき、その利用について理解します。 ○河川がつくる平野の小地形について理解します。	行動観察 ワークシート 小テスト
		10	2節 生活文化と自然環境①	17 海岸の暮らし	○海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解します。	レポート
			3節 生活文化と自然環境②	18 多様な気候とその分布 19 熱帯の人々の暮らし 20 乾燥帯の人々の暮らし	○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えます。 ○熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○乾燥帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	4節 生活文化と産業	21 温帯の人々の暮らし	○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。	行動観察
			22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし	○亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。	ワークシート
23 食生活と農業の分布			○自然環境の面から、食生活の地域差について理解します。	小テスト	
24 工場立地の変化			○工業立地について理解します。	レポート	
25 商業立地と人々の生活			○商業の立地の違いについて理解します。		
	12		26 情報産業の発達と生活文化の変化	○通信産業の発達による世界の変化、産業の情報化について理解します。	
			期末考査		期末考査
第3学期	1	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	27 地球環境問題（1）	○環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解します。	行動観察
			28 地球環境問題（2）	○森林の減少や砂漠化の進行について理解します。	ワークシート
	2	3節 人口問題	29 資源・エネルギーの偏在	○資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解します。	小テスト
			30 化石燃料から再生可能エネルギーへ	○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、その割合が拡大しない要因を考えます。	レポート
3		31 発展途上国の人口問題	31 発展途上国の人口問題	○発展途上国が抱える人口問題を理解し、その要因・影響を考えます。	
			32 先進国の人口問題	○少子高齢化対策として先進国で行われている取り組みを理解し、その成果や課題を考えます。	学年末考査
			学年末考査		学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	○地理に係わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○知識・技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた取り組みを行うおうとしている。 ○日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚が深まっている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

○現在の世界の出来事がわかるように、テレビや新聞などのニュースに注目しましょう。
○板書以外の説明などもプリントなどに書き込むと、あとからも思い出しやすくなります。
○チャイム着席を守り、教科書・資料集・配布物をまとめるファイルを用意する。
○提出物は期限内に必ず提出する。